

平成22年度「森林生態系保全再生」実施計画(案)

調査地点別・調査項目および調査実施年度(植生モニタリング調査)

参考資料1-6-1

調査地点および調査項目	調査地点数		1期計画					2期計画					調査範囲	調査内容	調査時期	調査頻度等備考		
	柵内	柵外	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25						
1. 植生タイプ別調査地点・I～VII																		
毎木調査(詳細)	8	6													樹高、胸高直径、位置	9～10月	1回/5年	
毎木調査(剥皮)	8	6	○												剥皮度(5段階)、枯死状況	9～10月	1回/5年	
植生調査	8	6													植物社会学的手法による	9～10月	1回/5年	
林床植生調査	8	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	種別植被率(%),最大高	9～10月	1回/2年	
実生調査	8	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	種名、高さ	9～10月	実生調査はH21で終了。林床植生調査で補足する	
ササ生育状況調査 ミヤコザサ	8	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	稈高(50本)	9～10月	1回/5年	
スズタケ	8	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	稈高(50本)、新芽数、新葉の位置	9～10月	1回/5年	
結実量調査	8	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	種別種子数	4～11月トラップ設置	6年間で傾向がおおよそ把握できたためH21で終了	
環境条件調査	7		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	気温、湿度、土壌水分、光量子密度、降水量	通年	毎年湿度、土壌水分、光量子密度はH21で終了、降水量はH22から新規実施	
実生生育基質調査	3	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	種名、高さ、コケの種類	9～10月	1回/2年	
2. 森林生態系保全再生実証実験の効果確認調査地点																		
実証実験区における効果確認調査																		
植生タイプI	15		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
植生タイプII	15		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
植生タイプV	6		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
3. 森林生態系保全再生事業実施地点(具体的取組に関する調査)																		
既存稚樹の確認、モニタリング															H22、H23に既存後継樹分布確認後、モニタリングを実施	8～10月	分布確認:H22、H23 モニタリング:毎年(サンプリング個体を1回/2年)	
大規模ササ刈り調査															大規模なササ刈り(1ha～2ha程度)を実施後、ササの回復状況等のモニタリングを実施	8～10月	正木峠、三津河落山付近のミヨコザサ育地で実施 ササ刈り頻度等手法については検討	
苗木植栽・播種試験モニタリング															苗木:樹高、根際径、衰退度、葉色 播種:発芽数	9～10月	H22に植栽手法を検討 植栽:1回/2年(サンプリング個体) 播種:毎年	
4. 移植苗木の生育追跡調査地点																		
正木峠、苔探勝路、ヒッターセンター裏、上道水場付近	4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	樹高、根際径、衰退度、葉色	10～11月	1回/2年	

○:調査済 ●:調査予定 ■:詳細調査 一:今回計画を変更し終了又は縮小した調査

調査地点別・調査項目および調査実施年度(植生モニタリング調査)

調査地点および調査項目	調査地点数		1期計画					2期計画					調査範囲	調査内容	調査時期	調査頻度等備考		
	柵内	柵外	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25						
5. ニホンシカ保護管理計画に基づく調査地点																		
①緊急対策地区		7																
上層植生調査			○														地点、手法について再検討	
下層植生調査			○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●				1回/5年	
②重点監視地区		4															地点、手法について再検討	
毎木調査																	1回/5年	
植生調査			○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●				毎年	
下層植生調査																	地点、手法について再検討	
③周辺地区		5															1回/5年	
毎木調査																	1回/5年	
植生調査			○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●				1回/5年	
下層植生調査																	1回/5年	
6. 植生保全対策実施地点																		
植生保全対策実施場所の検討																	毎年 翌年度以降の実施場所、手法を検討	
防鹿柵設置地点																		
植物相調査			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	毎年
植生変化モニタリング																	毎年	
小規模防鹿柵																		
稚樹生育状況調査	7																隔年	
パッチタイプフェンス																		
実生調査	12	12															H21で終了	
稚樹生育状況調査	12	12															H22から実施。1回/2年	
植生調査	12																1回/2年	

○:調査済 ●:調査予定 ■:詳細調査 一:今回計画を変更し終了又は縮小した調査

調査地点別・調査項目および調査実施年度(植生モニタリング調査)

調査地点および調査項目	1期計画												2期計画				調査範囲	調査内容	調査時期	調査頻度等備考		
	調査地点数																					
	柵内	柵外	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25										
7. 西大台利用調整地区植生モニタリング調査																						
植生調査		4												●	●	●	■	2m×2m×3m×3セット	種別被度(%),土壌硬度(詳細調査時)、定点点写真(毎年)	7~8月	詳細調査:1回/5年 定点点写真:毎年	
植生回復調査		6												●	■	●	●	10m×10m	詳細調査(種別被度・群度)、定点点写真	7~8月	詳細調査:1回/5年(初期値は2年実施) (簡易柵を設置し、シカの影響を排除した変化を把握) 定点点写真:毎年	
希少植物調査														●	●	●	●	歩道沿い	希少種の位置、個体数	6月	選定した指標種を対象に毎年	
種子持ち込み調査														○	○	○	○		ピジターセンサー等で回収する利用者の靴底泥のまきだし	泥の回収は5~11月 まきだしは適宜実施		調査は適宜
蘚苔類被度調査		12												○	○	○	○		蘚苔類の被度	秋季	1回/2年	
8. 緊急対策地区メッシュ調査																						
ササ類被度調査																		1メッシュ 100m×100m	被度・高さ・病気の有無	6~8月	1回/5年	
コケ類被度調査																			被度	6~8月	1回/5年	
9. 定点点写真撮影調査地点																						
定点点写真撮影																			景観変化調査:16地点 植生回復モニタ一調査:3地点	10月	毎年	
10. 菌害による実生定着阻害に関する調査																						
トウヒ種子の菌類への感染調査																		実証実験区 等	林床条件の違いによるトウヒ種子の菌類への感染調査		H21で終了	
11. 外来種に関する調査																						
外来種に関する調査																			ドライブウェイ等の法面や駐車場に生育する外来種の把握調査	7~8月	調査は適宜	
12. 水文に関する調査																						
森林内小渓流流量調査																		実験区等	調査する小流域を設定し、渓流流量調査する(1箇所)		毎年	

○:調査済 ●:調査予定 ■:詳細調査 一:今回計画を変更し終了又は縮小した調査

平成22年度「森林生態系保全再生」実施計画(案)
森林生態系保全再生事業の取組項目および実施年度

参考資料1-6-2

実施項目	1期計画					2期計画				実施範囲	実施内容	実施時期	備考	
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24					H25
	1. 植生保全対策													
防鹿柵(区域保護対策)の設置	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	西大台 東大台	防鹿柵(パッチデザイン、小規模防鹿柵を含む)の設置		植生保全対策実施場所の検討結果にもとづき設置
剥皮防止用ネット(単木保護対策)の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	東大台	剥皮の影響により枯死しやすい針葉樹を中心に実施	秋季	植生保全対策実施場所の検討結果にもとづき、環境、景観に配慮し設置
2. 具体的取組(試験的な取組も含む)														
既存稚樹の保護							●	●	●	●	東大台の植生タイプI、林縁部	簡易柵で既存稚樹を個体ごとに保護	夏季～秋季	既存稚樹の確認調査で確認した稚樹を保護
大規模ササ刈り							●	●	●	●	正木峠、三津河渡山 付近のミヤコザサ生育地	帯状(50m×200m程度)に刈り取り	夏季～秋季	ササ刈り頻度については、H22に検討
苗木の植栽、播種、管理							●	●	●	●	植栽: 東大台の植生タイプI、林縁部 播種: 圃場	植栽: 圃場の苗木を植栽 播種: 圃場に播種	9～10月	植栽は、H22に実施

○: 実施済 ●: 実施予定

